

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロジクロス座間計画	階数	地上5F
建設地	座間市栗原字東原493の5	構造	S造
用途地域	準工業地域、工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	1,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年11月1日
敷地面積	80,893 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社フジター級建築士事務所
建築面積	37,103 m <sup>2</sup>	確認日	2023年11月1日
延床面積	176,441 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社フジター級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 2.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 76%

③ 上記+②以外の: 76%

④ 上記+: 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.0

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 座間市栗原の準工業地域と工業専用地域に、工場及び事務所の複合用途のRC造・5Fの物流倉庫を計画した。		その他 -
<b>Q1 室内環境</b> ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用して室内の良好な空気質環境の確保を図っている。ゾーン毎にリモコン等で照明制御が可能な計画とし、光環境向上に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 免震装置を採用している。客室の天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構の植栽だけでなく、屋上への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 壁・天井ともLSG下地OA707及びOA707の採用。主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐輪場・駐車場及び荷捌き用駐車車両の駐車施設を確保している。周辺道路の渋滞緩和に対する対策は、車両出入口を2ヶ所に分散させている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される